

白兎養護学校

通級による指導の手引き



鳥取県立白兎養護学校

通級指導教室「ハーモニー」

令和6年4月改訂

目次

Q1.	「通級による指導」の対象は？	1
Q2.	入級までの流れは？	3
Q3.	入級後の流れは？	4
Q4.	個別の指導計画とは？	5
Q5.	退級後はどうなりますか？	8
Q6.	在籍校とどのように連携するのですか？	9
Q7.	保護者とどのように連携するのですか？	9
Q8.	個人情報の取り扱いはどうようになりますか？	9
Q9.	教材教具や教材費はどうようになりますか？	10
Q10.	通級の送迎の際、車はどこに駐車したらいいですか？	10
	必要な様式・資料・承諾書・連絡帳等	11

Q1. 「通級による指導」の対象は？

A1.

【対象の児童生徒】

通常の学級での授業に概ね参加できるが、一部特別な支援が必要な児童生徒。
(学校教育法施行規則第140条及び第141条により定められています)

<例>

- 読む、書く、話す、計算することに難しさがある。
- 不注意による間違いが多かったり、気が散りやすく集中したりすることに難しさがある。
- 自分の気持ちをうまく表現できない。
- 相手の気持ちの読み取りが難しく、自己中心的な話や行動がよく見られる。

【担当地域】 若桜町・智頭町・八頭町・岩美町

【学習をする場所】

○ 白兔養護学校に通って指導を受ける場合

該当地域・・・八頭町（中学校）、岩美町（中学校）

→放課後などに白兔養護学校のハーモニー教室で行います。

学籍は通常の学級のままです。

週に1回程度、指導時間は50分間です。基本、長期休業中はありません。

通級生徒の安全確保のため、保護者による送迎をお願いします。

※保護者による送迎が難しい等、通学が難しい場合は、ご相談下さい。



○ お子さんの学校で巡回指導を受ける場合

該当地域・・・若桜町（小中学校）、智頭町（中学校）

→自校の空き教室で行います。学籍は、通常の学級のままです。

週に1回程度、指導時間は小学校45分間、中学校50分間です。基本、長期休業中はありません。保護者の付き添いは特に必要ありません。



※通常の学級の授業を抜けて指導に替えるので、抜けた部分は家庭の宿題や放課後の補充指導で補うことになります。

【指導内容・方法】

自立活動の指導を行うことが原則で、特に必要がある時に各教科の補充学習を行います。

※単なる教科の遅れを補充するものではありません。

＜具体例＞

○読み・書きについてのニーズ

【聞くことの学習】

→できるだけ注意を持続させたり、注意深く話を聞いたりする練習をします。

【話すことの学習】

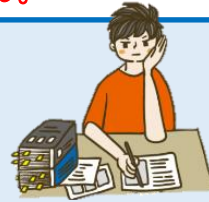
→話したい事をしっかり伝えるために、話したい内容をまとめてメモしたり、発表したりする練習をします。

【読むことの学習】

→フラッシュカードを活用したひらがな・カタカナ・単語の読みの練習や、スラッシュが入った文章を追いつきながら読む練習などをします。

【書くことの学習】

→間違えやすい漢字をパーツごとにわけて覚えたり、漢字を大きく表示してなぞり書きをしたりして正しく書く練習をします。



○落ち着いて学習することについてのニーズ

【不注意による間違いを少なくする学習】

→刺激を調整し、注意力を高める学習を行います。

→日常生活の中でつまずきが多い場面を取り上げて、自分を振り返る活動を行います。

【衝動性や多動性に関する学習】

→ボーディーボールなどでバランス力を高める練習やストレッチなどを行います。

→約束やルールを意識しやすくなる方法を考え、練習を行います。



○コミュニケーションについてのニーズ

→自分の気持ちや相手の気持ちを考えたり、ルールやマナーについて学習したりします。

→場に応じた話し方や行動の仕方、ソーシャルスキルトレーニング等も行います。

○見る機能についてのニーズ

→ビジョントレーニング（視機能トレーニング）などを行いながら、読み書きの学習を行います。

Q2. 入級までの流れは？

A2. 授業参観や面談等の相談、先生方からの聞き取りや入級相談を実施をします。白兔養護学校で入級確認会を開きます。

※白兔養護学校特別支援教育コーディネーターを以下、白兔 C0 とする。

在籍学級での児童生徒の困り感
児童生徒・保護者の通級指導についての希望の確認

在籍校で特別支援教育支援主任を中心に必要な支援について検討（在籍校校内委員会）

在籍校から地教委に連絡

- ① 通級希望児童生徒の教育相談（本人意思確認・ニーズの把握）【通級担当・本人】
 - ② 保護者の教育相談（保護者意思確認・ニーズの確認）【通級担当・保護者】
 - ③ 通級希望児童生徒の授業参観【LD 等専門員・白兔 C0・通級担当】
 - ④ 担任からの聞き取り・入級相談【LD 等専門員・白兔 C0・通級担当・在籍校担任・在籍校特別支援教育主任・在籍校学年主任・在籍校管理職】
- ★資料 在籍校：実態把握資料（在籍校作成、記入例を参照）

※入級確認会（白兔養護学校にて開催）【白兔管理職・白兔 C0・通級担当】
入級確認会後のお知らせ（白兔 C0→在籍校特別支援教育主任→保護者）

【入級申請時の必要書類：在籍校】

- ★通級承認申請書 様式 1（地教委へ）
- ★通級教育課程届出 様式 3・様式 3 別紙（地教委へ）

【入級申請時の必要書類：保護者】

- ★保護者承諾書 様式 7（保護者→在籍校→地教委へ）

⇒ 地教委による入級の判断・決定



【入級の場合】
通級による指導開始

【入級見合わせの場合】
教育相談の実施（担任・保護者・本人に必要な応じた間接的支援）

Q3. 入級後の流れは？

A3. 年に3回個別の指導計画検討会を開き、目標に対する評価や状態の変容について情報交換をします。(※出席者：保護者・LD等専門員・白兎CO・通級担当・在籍校担任・在籍校特別支援教育主任・在籍校学年主任・在籍校管理職)

◎個別の指導計画検討会・・・目標を設定・協議 (5月)

(在籍校・ハーモニー教室・家庭それぞれの目標を作成し、すり合わせ)

※同じ日に授業参観…お子さんの学習の様子を見ていただくことができます。

※同じ日に教育相談…希望があれば、教育相談を受けることができます。

家庭での学習の仕方や子育てについて等、相談できます。

★資料 白兎：通級指導個別の指導計画、通級児童生徒の係る取り組み
在籍校：在籍校個別の教育支援計画もしくは個別の指導計画

◎個別の指導計画中間評価会議…目標に対する中間評価・情報交換 (10月)

※同じ日に授業参観…お子さんの学習の様子を見ていただくことができます。

※同じ日に教育相談…希望があれば、教育相談を受けることができます。

家庭での学習の仕方や子育てについて等、相談できます。

★資料 白兎：通級指導個別の指導計画(前期評価・後期目標)
通級児童生徒の係る取り組み
在籍校：在籍校個別の教育支援計画もしくは個別の指導計画(評価・目標)

◎個別の指導計画最終評価会議…目標に対する最終評価・退級相談

(1月下旬～2月上旬)

※同じ日に授業参観…お子さんの学習の様子を見ていただくことができます。

※教育相談…希望があれば、教育相談を受けることができます。

★資料 白兎：通級指導個別の指導計画(後期評価)
通級児童生徒の係る取り組み
在籍校：在籍校個別の教育支援計画もしくは個別の指導計画(評価)

退級希望

通常学級で必要な支援を受けながら学習
※退級後に希望に応じて月に1回程度の
フォローアップ教育相談

継続希望

継続して通級指導を行う。

※目標が達成した場合には、年度途中でも退級の相談を行う。

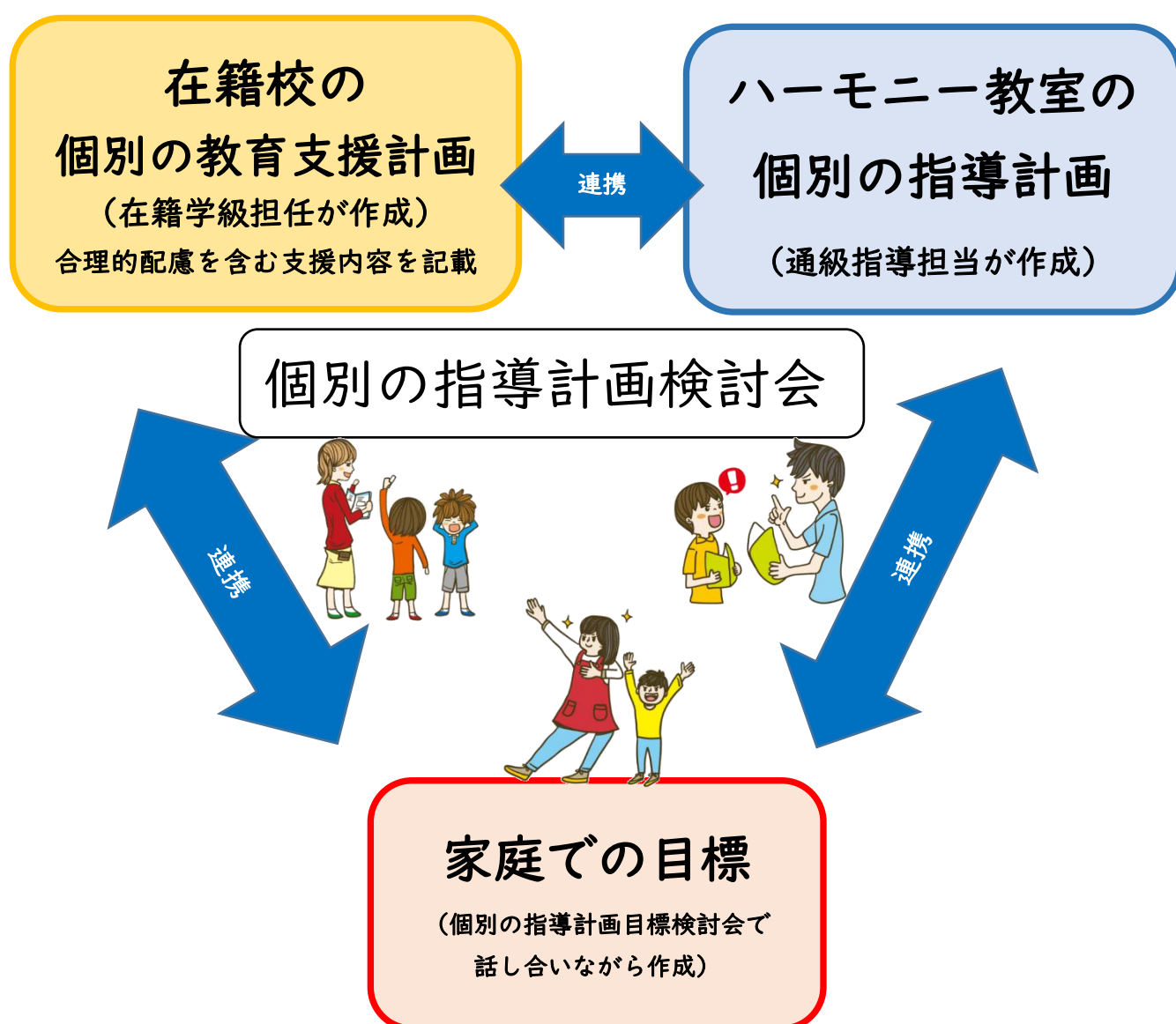
※年度途中の入級の場合も、目標を達成した場合は、年度末で退級相談を行う。



Q4. 個別の指導計画とは？

A4. 児童生徒の学習上生活上の困り感をしっかりと把握した上で、一人一人に応じた指導目標や指導内容及び評価を示したものです。

1つの目標に向かって在籍学籍級、家庭、ハーモニー教室のそれぞれの場
での目標を作成し、個に応じたきめ細やかで効果的な指導を行います。



ハーモニー教室

自分にとってわかりやすい学習の
仕方を学ぶ場

「～ができるようになりたい！」

という**本人の気持ち**

家庭

学校やハーモニーで
学ぶ土台を育てる場

学校

ハーモニーで学んだ方法
を生かして実践する場

通級による指導の目的は、お子さんが在籍している学校、学級、地域で、自信を持って自分らしい充実した生活を過ごすための必要な支援を行い、在籍学級の支援に生かすことのできる必要な配慮を見つけることです。通級・学校・家庭が連携し、それぞれが同じ方向で支援に取り組むことで、お子さんに合った成長につながります。



書式例 通級担当者が作成し提案します。この指導計画の目標や支援内容をもとに学習をします。

個別の指導計画（通級指導教室）

入級日	令和 ○年 ○月 ○日	記入者	○○ ○○
ふりがな 氏 名	○○ ○○ (性別)	生年月日	平成○年○月○日
在籍校・学年	○○学校 第○学年 (担任：○○ ○○)		
【本人・保護者・担任のニーズ・ニーズにかかわる実態】			
実態	・慣れた文章はすらすら読むことができるが、初読になるとスピードが遅くなる。 ・清音は正しく読めるが、拗音や拗促音で読み間違いや書き間違いがある。		
ニーズ	(本人) すらすら読めるようになりたい。 (保護者) 文章を自分で読んで、内容を理解できるようになってほしい。 (担任) 文章を意味で区切って、読めるようになってほしい。		
≪長期目標≫ ○自分に合った文章の読みやすい方法を知り、学習場面で活用する。			
	短期目標（前期）	支援	評価（回実施）
通級	○自分に合った文章の読みやすい方法を知る。	・文章の読みにくい箇所にスラッシュを入れたり、指でなぞりながら読んだり、自分自身が合った読みやすい方法を試す機会を作る。 ・読みの力の土台となる音韻認識の力を高めるために、さかさ言葉やしりとり等の言葉の学習を行う。 ・視覚的にとらえる事が得意なので、特殊音節（促音・幼促音等）についてのルールを視覚化する。 ・読むことが難しい文章はタブレットの読み上げ機能など I C T 機器の活用を試す。	★個別の指導計画検討会までに、家庭での目標を考えておいてください。 ・目標は1つか2つ程度 ・無理のないできそうな目標
家庭	○新しい単元に入る前に、先取って音読をする。 ○自学で単語の読み練習をする。	・読みにくい場所に、スラッシュを入れたり、読めない漢字にふりがなをつけたりする。 ・指追いをして読むなど、自分の読みやすい方法で読めるよう声かけをする。 ・通級の学習プリントや市販の単語カード、学習アプリなどを活用し、週に1回程度自学として取り組む。	
≪今後、在籍校において参考となる手立て≫ ・通級で学習した内容を共有し、学級の国語の音読の時間に同じ方法を試す。 ・学級で文章を読むときに困ることがないか、本人の困りやニーズ等を聞く。			

※〔評価基準〕 ○…7割できた ○…5割できた △…できていない

Q5. 退級後はどうなりますか？

A5. 退級については、在籍校職員・保護者・通級担当者と話し合いを持ちます。白兔養護学校でも退級確認会を持ちます。その後、必要であれば、フォローアップの教育相談を受けることができます。

年度末（1月下旬～2月上旬）

※原則1年で退級

①個別の指導計画の最終評価会議の開催

（目標の達成状況、主訴の改善の状況など総合的に評価）

【保護者、LD等専門員、白兔C0、通級担当、在籍校担任、在籍校特別支援教育主任、在籍校学年主任、在籍校管理職】

在籍校から地教委にも連絡

②白兔養護学校で退級確認会【白兔管理職・白兔C0・通級担当】

※退級確認会後のお知らせ（白兔C0→在籍校特別支援教育主任→保護者）

《退級時の必要書類：在籍校》

★通級終了通知 様式4（地教委へ）

⇒ 地教委による決定、通知

継続して
通級指導希望

※次年度、必要性を確認の上、再度入級の手続きが必要

通常の学級で必要な支援を受けながら学習

【フォローアップ教育相談】

退級後1年間は、学級での様子を見せていただき、必要に応じて教育相談を行います。

★本人

★在籍学級の担任

★保護者

必要・希望に応じて進学先（中学校・高校）への引き継ぎや、進学後の教育相談などの継続した支援の実施



Q6.在籍校とどのように連携するのですか？

A6.

○学習ファイルの活用

→通級指導担当者が、授業の様子を学習ファイルに書き、家庭・担任・管理職・特別支援教育主任に回覧することにより、情報交換します。

○日々の情報交換

→通級指導担当者と担任が、学習の様子や学力の定着の状況などを必要に応じて情報交換します。

○在籍学級の授業参観

→授業の様子を必要に応じて参観し、学級での学習状況の確認を行います。

Q7.保護者とどのように連携するのですか？

A7.

○学習ファイルの活用

→毎回の授業後、学習の様子をお伝えします。

家庭欄には、家庭での様子を書いていただき、それを在籍校で回覧します。

○個別の指導計画検討会で情報交換

→年に3回指導計画検討会があります。その会で、目標に対する評価をハーモニー・在籍校・家庭のそれぞれの立場で行い、日々の学習ファイルではできない情報交換などもします。

○教育相談

→指導計画検討会に合わせて、保護者の教育相談の機会を設定します。(希望者)
家庭での学習の仕方や子育てなどについて相談することができます。

Q8.個人情報の取り扱いはどうになりますか？

A8.

○個別の指導計画を個別指導計画検討会・中間評価会・最終評価会の資料として出させていただきます。

○通級指導に関する個人情報については、適正・厳正な取り扱いを実施します。

○以下に示す関係書類は、白兔養護学校で5年間保存し、期間が終了したものは、適正に廃棄処分をします。

- ・入退級の手続き及び相談に関する書類
- ・個別の指導計画
- ・個別の指導計画検討会及び評価会議記録
- ・学習ファイルのコピー（原本は保護者に返却）
- ・本人、保護者とやりとりをした書類のコピー
- ・その他通級指導に関する書類

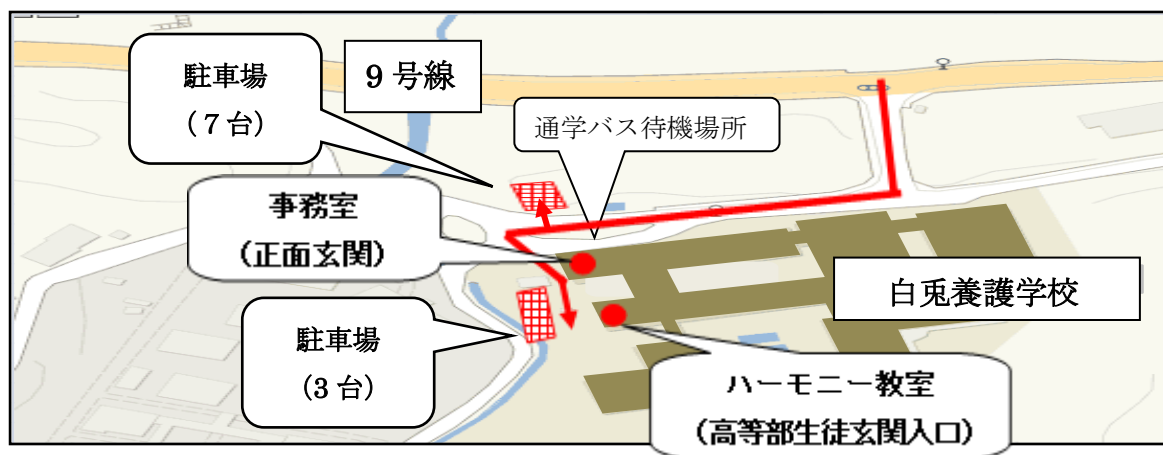


Q9.教材教具や教材費はどのようになりますか？

A9.学習ファイル・教材・教具等、家庭に持ち帰る物については、保護者負担で、その他は県費で購入します。

Q10.通級の送迎の際、車はどこに駐車したらいいですか？

A10.お車を、下図の所に止めていただき、正面玄関からお入り下さい。



【駐車場の利用可能な時間】

★来校時は、必ず事務室で受付をし、名札をもらって下さい。

お問い合わせ

鳥取県立白兔養護学校 TEL 0857-59-0585

(窓口) 特別支援教育コーディネーター

必要な様式・資料・承諾書・連絡帳等

(在籍校→白兔) 様式



通級指導教室「ハーモニー」 実態把握資料(在籍学校用)

ふりがな 氏 名	(性別)		生年 月 日	平成 年 月 日
在籍校・学年	立 学校 第 学年			
診断名				
主治医服薬等	主治医	受診頻度	服薬名・頻度	
専門機関利用 (LD 等専門員等)				
諸検査	学力検査(診断テスト等)	結果(SS 等)	実施年月日	
	知能検査(WISC－Ⅲ等)	結果(IQ 等)	実施年月日	
	その他検査	結果	実施年月日	
個別の 教育支援計画	平成 年 月 日作成 令和			
個別の 指導計画	令和 年 月 日作成			
通級に対する ニーズ	本 人			
	保護者			
	担 任			
行動について (生活面・学習 面・コミュニケ ーション面等)				
担任氏名			記入年月日： 令和 年 月 日	



通級指導教室「ハーモニー」 実態把握資料(★記入例)

ふりがな 氏 名	・担任からの聞き取り・入級検討のときの資料として使用し、 詳しい聞き取りをします。 ・白兔養護学校の入級検討会資料として使用します。			日
在籍校・学年				
診断名				
主治医服薬等	主治医 鳥取医療センター (〇〇Dr.)	受診頻度 月〇回(年〇回)	服薬名・頻度 コンサータ 朝夕各1回	
専門機関利用 (LD等専門員等)	・〇年生からLD等専門員に相談 ・〇年生からエールに相談			
諸検査	学力検査(診断テスト等)	結果(SS等)	実施年月日	
	診断テスト	国語〇点、算数〇点	令和〇年〇月〇日	
	学力検査	国語〇点、算数〇点	令和〇年〇月〇日	
	知能検査(WISC-Ⅲ等)	結果(IQ等)	実施年月日	
	WISC-Ⅲ	全IQ〇〇、言語性IQ〇〇、 動作性IQ〇〇	令和〇年〇月〇日	
	その他検査	結果	実施年月日	
	音読検査		令和〇年〇月〇日	
個別の 教育支援計画	平成 令和 〇年〇月〇日作成			
個別の 指導計画	令和 〇年〇月〇日作成			
通級に対する ニーズ	本人	★重要★ 本人のニーズ、保護者のニーズ、担任のニーズが一致することで 通級指導の目標・ねらいが明確になります。ニーズ(支援の方向 性)が一致するように入級に向けた話し合いをお願いします。		
	保護者			
	担任			
行動について (生活面・学習 面・コミュニケ ーション面等)	・ひらがなやカタカナの読みはできるが、〇学年以上の漢字の読みは難しい。 ・漢字を見て書くことが難しく、文章はひらがなで書くことが多い。 ・相手の気持ちが読み取れず、思ったことをすぐに口にしてしまうため、友だちとの ラブルが多い。 ・気持ちが落ち着いた時には行動の振り返りができるが、失敗、間違いを受け止めら れない。 ・勝敗にこだわりがある。			
担任氏名	「～できるが、～は難しい」等、困り感苦 手な面だけでなく、得意なこと強みも記入し てください。(合計4つ～5つ)			

通級指導教室「ハーモニー」連絡帳（ ）

令和 年 月 日（ ）・次回の予定： 月 日（ ）

学習内容
①おはなしタイム
②きくきくタイム
③音読
...

〈通級教室より〉今日は、〇〇な学習をしました。...		
毎回、〈家庭より〉の欄に記入をお願いします。 どんなことでも大丈夫ですので、よろしくお願いします。 記載例 ・連絡帳を読んだ感想・質問 ・家庭での生活や宿題の様子 ・家庭で困っている事 ・宿題の教え方など...		
〈連絡事項等〉 〇次回〇〇の教科書をお願いします。		
〈家庭より〉 		
〈学校（担任）より〉 学級では、国語の授業で〇〇な姿が見られました。...		
校長 印	教頭 印	特別支援教育主任 印

※次回の授業までに、家庭・学校の回覧（サインなど）をよろしくお願いします。

連絡帳の回覧順の例

ハーモニー後、家庭に持ち帰る→担任に提出→校内で回覧→ハーモニーに持っていく。